

令和3年度の国内希少野生動植物種の指定について

1. 国内希少野生動植物種の指定状況について

- 環境省では、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（以下「種の保存法」とする。）に基づく「希少野生動植物種保存基本方針（以下「基本方針」とする。）」、平成26（2014）年に環境省が策定した「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」（以下「保全戦略」とする。）や同年に中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会で示された「国内希少野生動植物種の新規指定等に関する基本的な考え方について」等を踏まえ、絶滅の恐れのある種の実態調査等を行い、国内希少野生動植物種の指定の検討を実施し、現在、395種が国内希少野生動植物種（特定第一種国内希少野生動植物種、及び特定第二種国内希少野生動植物種を含む。）に指定されている。
- また、保全戦略では2020（令和2）年までに国内希少野生動植物種を300種追加指定することを目標として掲げていたことから、令和2年度までに309種を追加指定した（平成26年度以降、年間30～60種程度を指定）。
- 平成29（2017）年の種の保存法の法改正の際の附帯決議として、「国内希少野生動植物種の指定は、科学的知見を最大限に尊重して実施することとし、当面、2030年度までに700種を指定することを目指し、候補種の選定について検討すること。」が求められている。

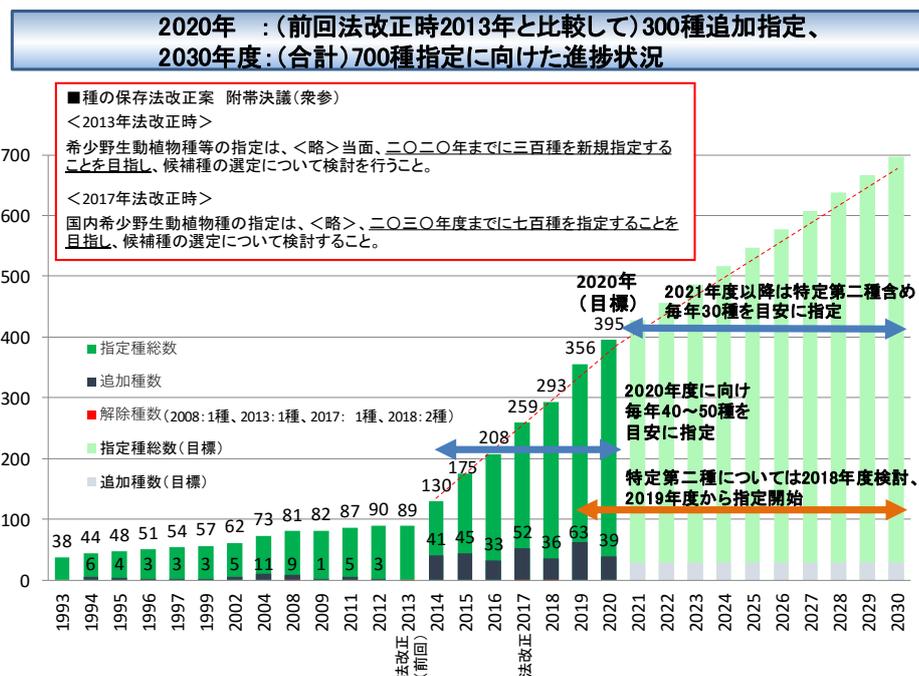


図1 国内希少野生動植物種の指定状況

2. 今年度の新規指定候補種について

(1) 今年度の指定について

- 今般、現地調査や専門家へのヒアリング調査等の結果に基づき、個体数や分布その他の必要な情報を得た上で、令和3年12月8日に開催された「令和3年度希少野生動植物種専門家科学委員会」等において、国内希少野生動植物種への指定の必要性と有効性を了解いただいた、アブサンショウウオ等の32種(動物28種、植物4種)について、国内希少野生動植物種の追加候補種とする(表1のとおり)。
- このうち、特定第二種国内希少野生動植物種25種、種の保存法第6条第2項第4号の政令で定める、卵の捕獲等の規制を適用する種として26種(サンショウウオ類全種)を指定する。
- 今回の指定候補種のうち、27種(動物25種及び植物2種)は日本固有種(又は固有亜種・固有変種)。

(2) 指定候補種における国民提案種について

- 募集を開始した平成26年度から令和2(2020)年12月末までの間に合計67種、のべ85件の提案を受理した。このうち令和2年は5種5件である。
- 提案を受理した種のうち25種は国内希少野生動植物種に指定済。今回は、カワシンジュガイ、コガタカワシンジュガイ及びカドハリイの3種(・変種)の指定を検討した。
- その他の39種のうち8種は絶滅の恐れが低いことから現時点では指定しない方針としており、それ以外の31種については引き続き検討する。

3. 指定検討経緯

令和3年12月8日 令和3年度希少野生動植物種専門家科学委員会
令和3年12月9日～15日 パブリックコメント

表1 令和3年度の国内希少野生動植物種（特定第二種国内希少野生動植物種を含む。）の指定候補種一覧

綱名	種名	卵・種子の指定	特定第二種
	サンショウウオ科		
	1) <i>Hynobius abuensis</i> (アブサンショウウオ)	●	●
	2) <i>Hynobius akiensis</i> (アキサンショウウオ)	●	●
	3) <i>Hynobius bakan</i> (ヤマグチサンショウウオ)	●	●
	4) <i>Hynobius boulengeri</i> (オオダイガハラサンショウウオ)	●	●
	5) <i>Hynobius dunni</i> (オオイタサンショウウオ)	●	●
	6) <i>Hynobius fossigenus</i> (ヒガシヒダサンショウウオ)	●	●
	7) <i>Hynobius guttatus</i> (マホロボサンショウウオ)	●	●
	8) <i>Hynobius hidamontanus</i> (ハクバサンショウウオ)	●	
	9) <i>Hynobius ikioi</i> (ベッコウサンショウウオ)	●	●
	10) <i>Hynobius iwami</i> (イワミサンショウウオ)	●	●
	11) <i>Hynobius katoi</i> (アカイシサンショウウオ)	●	
四 両生綱	12) <i>Hynobius kuishiensis</i> (イヨシマサンショウウオ)	●	●
	13) <i>Hynobius kunibiki</i> (イズモサンショウウオ)	●	●
	14) <i>Hynobius naevius</i> (ブチサンショウウオ)	●	●
	15) <i>Hynobius nebulosus</i> (カスマサンショウウオ)	●	●
	16) <i>Hynobius okiensis</i> (オキサンショウウオ)	●	●
	17) <i>Hynobius oyamai</i> (チクシブチサンショウウオ)	●	●
	18) <i>Hynobius sematonotos</i> (チュウゴクブチサンショウウオ)	●	●
	19) <i>Hynobius setoi</i> (サンインサンショウウオ)	●	●
	20) <i>Hynobius setouchi</i> (セトウチサンショウウオ)	●	●
	21) <i>Hynobius stejnegeri</i> (コガタブチサンショウウオ)	●	●
	22) <i>Hynobius tsurugiensis</i> (ツルギサンショウウオ)	●	
	23) <i>Hynobius utsunomiyaorum</i> (ヒバサンショウウオ)	●	●
	24) <i>Hynobius vandenburghi</i> (ヤマトサンショウウオ)	●	●
	25) <i>Onychodactylus kinneburii</i> (シコクハコネサンショウウオ)	●	●
	26) <i>Salamandrella keyserlingii</i> (キタサンショウウオ)	●	●
七 二枚貝綱	カワシンジュガイ科		
	27) <i>Margaritifera laevis</i> (カワシンジュガイ)		●
	28) <i>Margaritifera togakushiensis</i> (コガタカワシンジュガイ)		●
植物界	キク科		
	29) <i>Saussurea insularis</i> (シマトウヒレン)		
	カヤツリグサ科		
	30) <i>Carex lehmannii</i> (センジョウスゲ)		
	31) <i>Eleocharis tetraquetra</i> var. <i>tsurumachii</i> (カドハリイ)		
	イネ科		
	32) <i>Stipa alpina</i> (ヒゲナガコメスキ)		